

もぐりんが行く！文化財めぐり



もぐりん



第42回 西区(己斐橋西詰周辺)

今回もぐりんが行くのは西区己斐橋西詰周辺です。己斐橋が架かる太田川放水路の岸边には、どのような文化財があるのでしょうか。

希少植物の群生地<太田川放水路 己斐橋西詰周辺>

山陽本線西広島駅南口から広電の電車道にそって東へ進むと、すぐに太田川放水路に架かる新己斐橋が目に入ります。橋は渡らず、橋のたもとから太田川放水路の土手を降りてみましょう。河川敷を北に向かって少し歩き、己斐橋をくぐると、水辺に植物の群生が現れます。

一見ヨシばかりのように見えますが、水際に近寄ってよく探すと、馴染みのない植物が見つかります。それが、今回紹介する希少植物です。

吹き抜ける風に潮の香が混じることからも分かるように、これらは、潮の満ち引きの影響を受け日々塩分混じりの水に洗われる環境に育つため、塩生植物と呼ばれています。河川の整備が進む前は太田川河口域でたくさん見られたということですが、今では絶滅のおそれがある種としてレッドデータブック*で紹介されている希少植物です。

広島市民にとって身近な太田川の河川敷が、希少植物の群生地であるということはあまり知られていません。今回写真で紹介したフクドとハマサジはどちらも秋に花を咲かせます。現地を観察してみたいはかがでしょうか。

満潮時には水に浸かっていることができません。安全確保のためにも事前に潮位表等を調べ、干潮時を狙って現地へどうぞ。また、干潮時でも足元がぬかるんでいることが多いので、長靴等の持参をおすすめします。

*「広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版)レッドデータブックひろしま2021」広島県



▲己斐橋付近の水辺に希少植物の群生を見ることができる



▲フクド キク科の多年草



▲ハマサジ イノサツ科の越年草

次回(12月号)の文化財めぐりは「安佐南区」です。

グループ紹介

なかまたち

アートクラブ美鈴 =美術=

メンバー募集

美鈴が丘公民館(佐伯区)を拠点に創作活動をしている絵画サークルです。メンバーは約20名、絵画を始めたばかりの初心者から30年以上絵筆を持ち続けてきた人などキャリアはさまざまです。月に2回集まり、講師の迫田嘉弘さん(光風会評議員)指導のもと、水彩、油彩、パステルと思いつきの筆を手に励ましあいながら仲良く創作しています。毎年、有志による展覧会、アートグループ『滴』展を県民ギャラリーで開催。近年は新型コロナの感染状況を受け中止することもありましたが、創作熱が冷めることはありません。キャンパスに向きあう時間は、日々の暮らしの中でいい緊張感、張り合いを生んでいるそうです。【第32回アートグループ『滴』展】9月6日(火)~11日(日) / 広島県立美術館県民ギャラリー / 無料 ※新型コロナの感染状況を受け中止する場合があります。



◆活動日 / 毎月第2・4金曜 9:30 ~ 12:30 ◆問 / アートクラブ美鈴(砂原) TEL.082-928-9158 または 090-6404-6605

市内を拠点に活動するサークルの情報発信、検索に広島市のポータルサイト[ひろしま情報a-ネット]をご活用ください。

検索 ひろしま情報a-ネット

「LIVE配信」を、
もっと身近に。

オンライン配信
設備完備



コンサート・ダンス

セミナー・講演会

発表会・コンクール

演芸・演劇

ゲバントホール
Gewand Halle

詳細はこちらから▶

<http://gewand.jp/>



WAKOゲバントホール

広島市中区本川町 2-1-13 和光パレス 21-5F

☎ 082-503-1711

配信機材や配信経験が無くても大丈夫!! 専属スタッフが全力でサポートいたします。